



## 無駄に無駄を重ねて川を殺す「徳山ダム導水路」 —河村市長の『方針転換』という愚に抗議する—

2月14日の河村たかし、名古屋市長の突然の「導水路事業容認への方針転換」に市民は驚いている。2009年5月、市長に就任したばかりの河村氏は、「撤退表明」をして、世間の耳目を集め、支持率も上昇した。徳山ダム導水路(木曾川水系連絡導水路)は、2009年から「凍結」となっており、2010年からの「ダム等再検証」で国が関与する事業としては唯一残っている。国は「再検証」を終えたいだろうし、起業者・水資源機構としては大型建設事業を早く本体着工にもっていきたいだろう。2009年の河村市長の「撤退表明」が、導水路事業を進めない重しになってきたことは確かである。

だがそれ以上に、徳山ダム導水路は、そもそも不要だから進まなかったのだ。名古屋市水道の需要は1970年代のピークから3分の2にまで減っており、1995年に運用を開始した長良川河口堰の水を使う予定も全くない。「都心回帰」で給水人口が増えても、節水と地下水利用のために水の需要は減り続けている。

徳山ダムの新規開発水は一滴も使われていない。「水余り」は長良川河口堰ですでに証明されていた。全村移転という重い事実があっても、徳山ダムは建設するべきでなかった。「導水路はいらぬ愛知の会」が愛知県に「導水路事業はやめるように」と要請に行ったときの愛知県の担当者の答えは「徳山ダムができちゃったから(導水路を造るしかない)」であった。

要らないものを造ってしまった失敗を、失敗としてきちんと認め、過ちを繰り返さない。「損切り」を断行するしかないのだ。それができなければ、いつまでも高度成長期の政策にしがみつぎ、無駄に無駄を重ねて、社会全体を疲弊させることにしかならない。最近の建設費増額の動向から事業費が1000億円をはるかに超えることは明白である。次世代に大きな負担をかかせることは許されない。

今回の河村市長の「新しい用途」なるものも、苦し紛れの単なる思いつきとしか考えられない。

「①安心安全なおいしい水」…名古屋市水道局の水が「日本一みゃあ」というのが河村市長のかねてからの自慢だったはずである。導水路からの水がそれに勝るといえる話では理解できない。「②流域の治水」…洪水対策で上流ダムが事前放流した後、もし雨が降らないで「ダムが空になったら!」という筋書きによるものだが、国交省のダム管理能力を信用しない見過ごせない発想だ。また名古屋市には十分な自流水利権があり、平成6年の大洪水で水源開発ダムが空になっても断水はなかった。水道需要は当時より大幅に減っている。奇妙なリスク論で市民を感わずべきではない。「③堀川の再生」…この話は2009年にもあったが、貴重な水資源の利用として本筋のテーマにされるべきではない。

河村市長が言う「苦渋の決断」も、つまるところ、14年前の愛知県職員の「(ダムが)できちゃったから」という発言に追従したものに過ぎないとしか言えない。さすれば、2009年の「撤退表明」は人気取りの思いつき、口から出任せであったということか。

計画によれば名古屋市工業用水の水源取水の目的で徳山ダム導水路を通った水が、途中一部が長良川に放流される。「鶴飼場」直上流で放流されることに、岐阜市民は川の環境悪化と世界農業遺産「清流長良川の鮎」が蔑ろにされることに大きな不安と反対の声を上げている。名古屋市工業用水のために長良川を殺すのは許されない。

河村・名古屋市長が今しなければならぬことは「導水路撤退の行政手続き」である。導水路建設容認という「方針転換」の愚に強く抗議する。

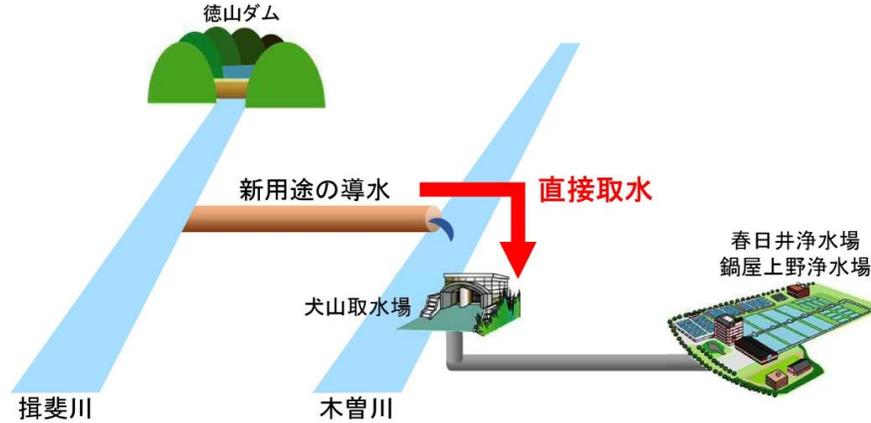
2023年2月16日

導水路はいらぬ!愛知の会  
長良川市民学習会  
徳山ダム建設中止を求める会



# 新用途の導水

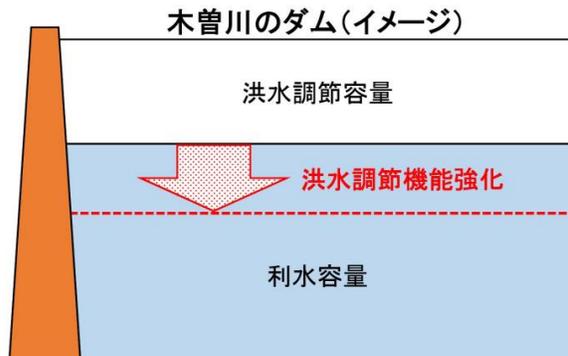
## 新用途① 安心・安全でおいしい水道水の安定供給



- 水道水の質的確保  
⇒ 良質な揖斐川の水を水源に追加
- リスクへの対応力向上  
⇒ 事故などで木曾川から取水できない場合の対応

## 新用途② 流域治水の推進

- 木曾川のダムにて積極的な事前放流  
⇒ 雨が降らずダムの水位が回復しない場合に  
新用途の導水により河川の流況を確保



## 新用途③ 堀川の再生

- 新用途の導水を活用した堀川への恒久的な導水



# 木曾川水系の水資源開発ダム



# 長良川河口堰・徳山ダム・木曽川水系連絡導水路

1968(昭43)年 木曽川水系水資源開発基本計画(フルプラン)

1973(昭48)年 フルプラン全部変更(FPⅡ)

1988(昭63)年 **長良川河口堰**本体工事着工

1995(平7)年7月 河口堰運用開始

12月 **徳山ダム**建設事業審議委員会設置

12月 **徳山ダム**建設中止を求める会発足

1997(平9)年12月 名古屋市3m<sup>3</sup>/秒撤退(FPⅢ) 河川法改正

2000(平12)年5月 徳山ダム本体着工 08年5月試験放流完了

2004(平16)年5月 徳山ダム新規水利権6.6m<sup>3</sup>/秒に(FPⅣ)

2007(平19)年8月 **木曽川水系連絡導水路**上流分割案の合意

12月 **長良川市民学習会**発足

2009(平21)年3月 「**導水路はいらない!愛知の会**」発足

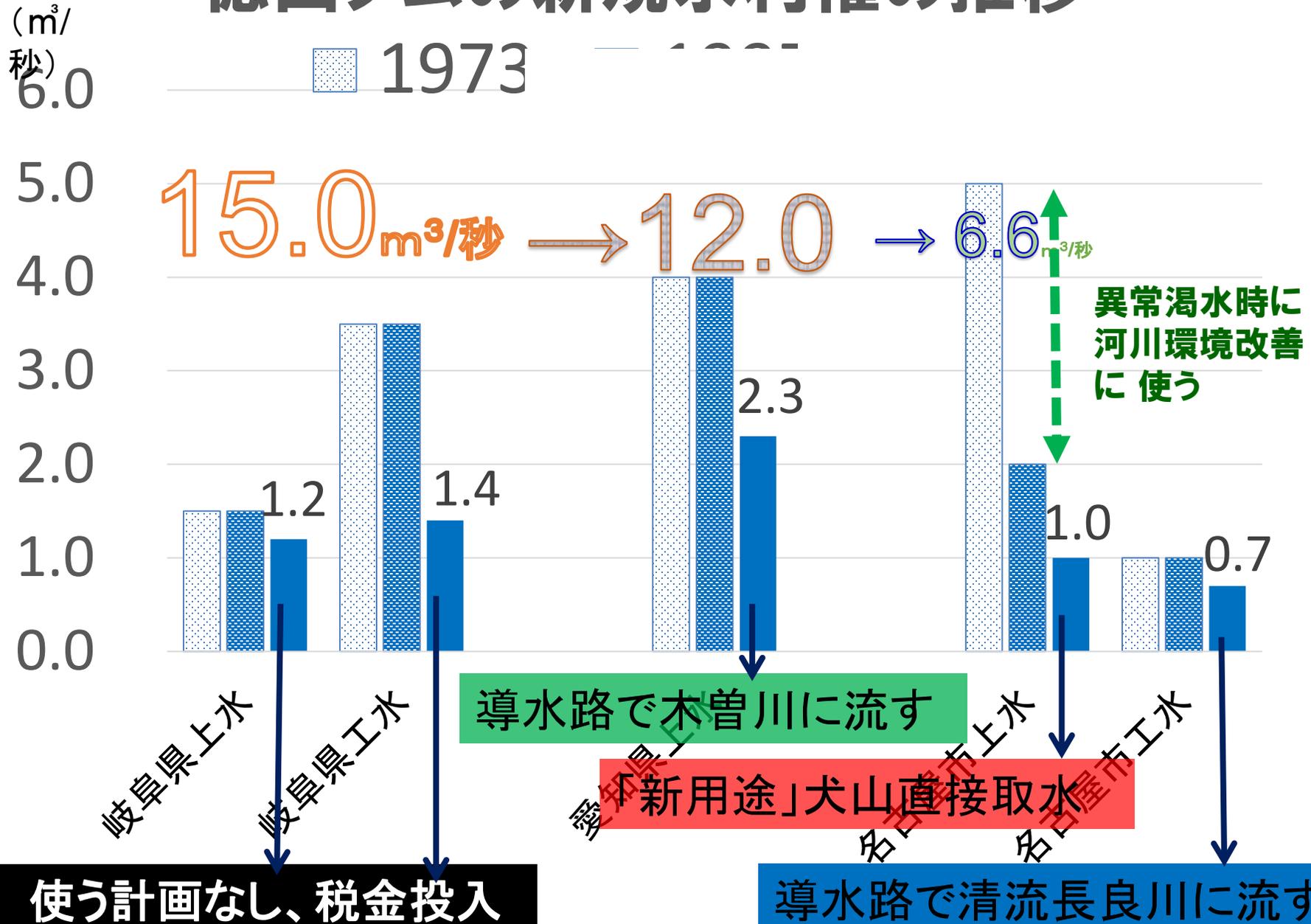
5月 名古屋市長「**導水路撤退**」声明

10月 前原国交大臣「**導水路凍結**」表明

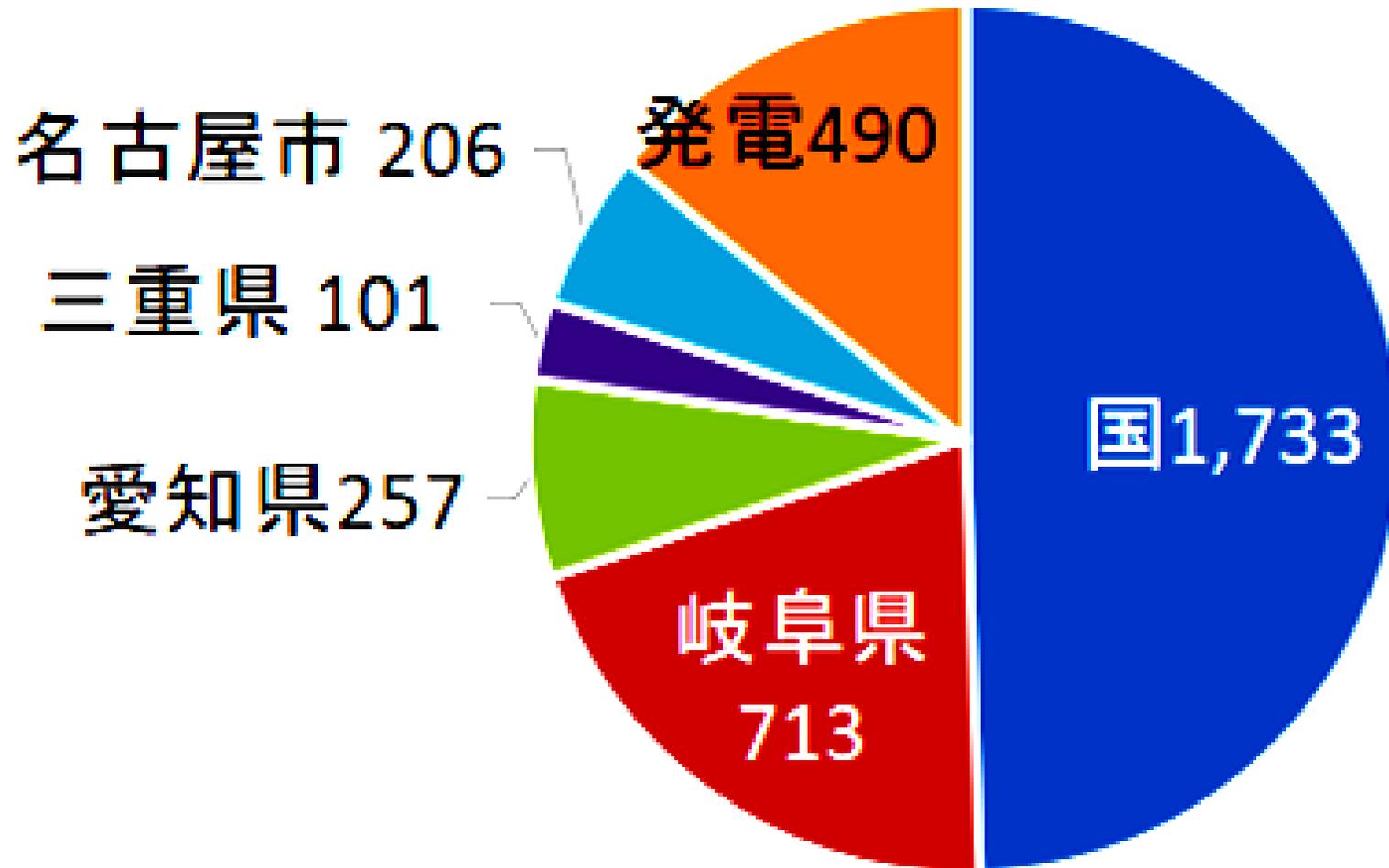
2011(平23)年2月 大村・河村、共同マニフェスト掲げて当選

\* 共同マニフェスト: 導水路見直し、河口堰の開門調査

# 徳山ダムの新規水利権の推移

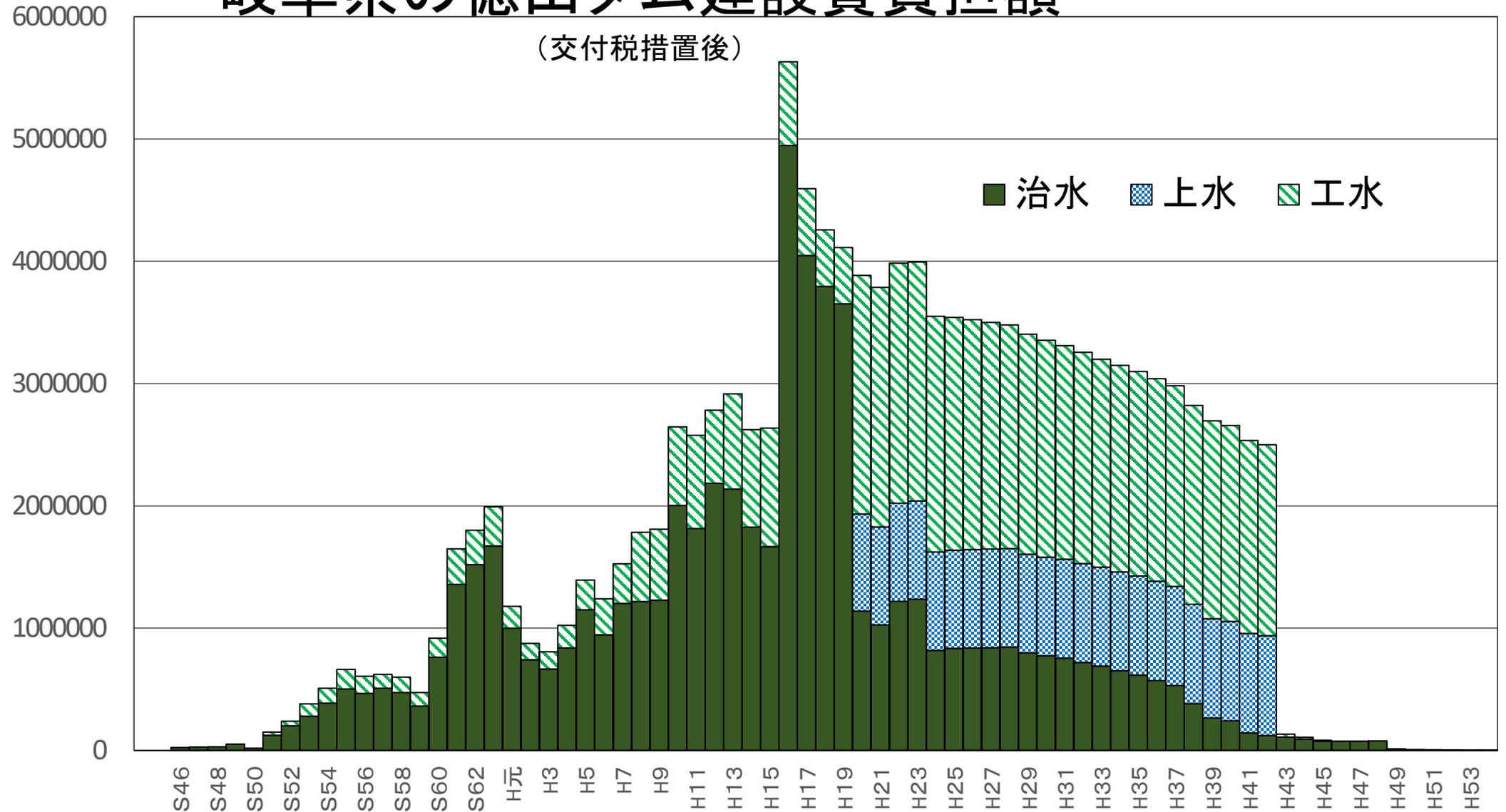


# 徳山ダム建設費(3,500億円)の負担割合



# 岐阜県の徳山ダム建設費負担額

(交付税措置後)



# 今後23年間で592億円の返済

毎日

〔第3種郵便物認可〕

## 徳山ダム

# 「利水面、大きな課題」

## 知事、利用者開拓急ぐ意向

本格運用が近づくと述べ、斐川町の徳山ダムについて、古田肇知事は22日の記者会見で「治水面では大きな効果が期待できるが、利水面が

大きな課題だと述べ、市町村と協力しながら、水の利用者の開拓を急ぐ意向を示した。県は今年度予算で、徳山ダムの事業費償還



「利水面が大きな課題」と話す古田知事

金の一部である23億円を計上しており、今後23年間で592億円という巨額の償還金を分割払いする。償還金は水の利用料を充てる予定だが、利水の確保はまったく立っていない。このため、古田知事は「償還は大きな財政負担だ」と話した。また古田知事は、愛知県の総事業費約3500億円で、利水事業には7億7000万円を費やしている。【稲垣衆史】

## 「放流理由の説明を」

徳山ダム 市民団体が要請書  
導水路計画

市民団体「長良川に徳山ダムの水は要らない」市民学習会実行委員会（粕谷志郎代表）は22日、徳山ダム（揖斐川町）の水の一部を長良川経由で木曾川に送る導水路建設計画について、長良川に放流する理由や意義を分かりやすく説明することなどを求める要請

書を、岐阜市忠節町の中部地方整備局木曾川上流河川事務所に提出した。

実行委はこれまで、岐阜市と県に対して、把握している情報の開示などを要請してきた。実行委メンバーらは「94年の異常濁水時でも、長良川に大きな影響があったとのデー

一般公開は初めてとなる。【鈴木敬之】

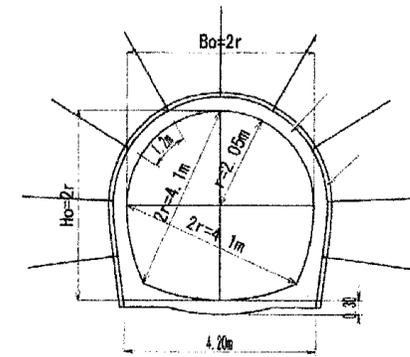
利水のメドは  
まったく立っていない！

08 4

岐阜県 工水1.4m<sup>3</sup>/秒

上水1.2m<sup>3</sup>/秒

2008年4月23日「毎日新聞」



延長: 43km

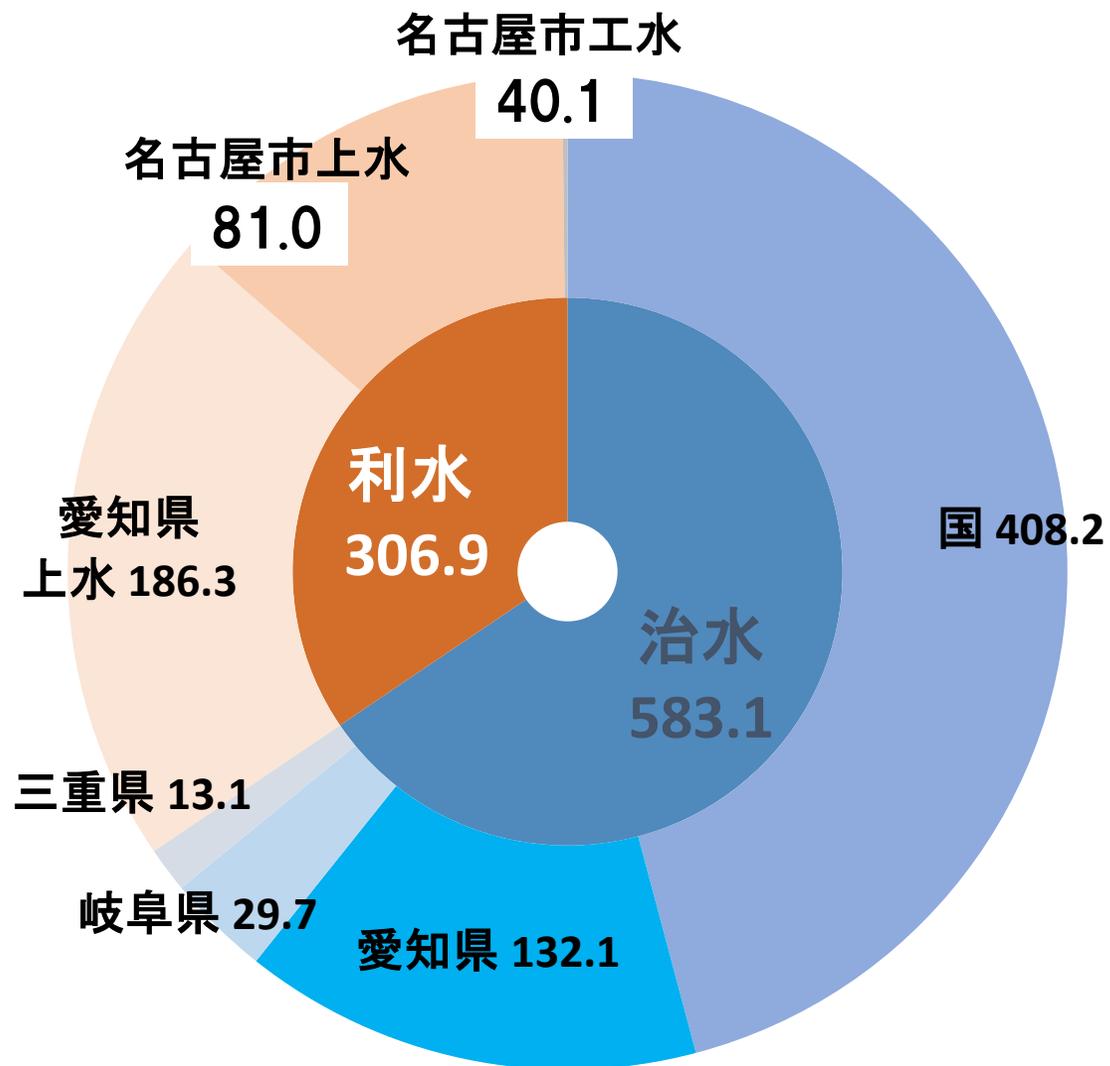
トンネル径: 約4m

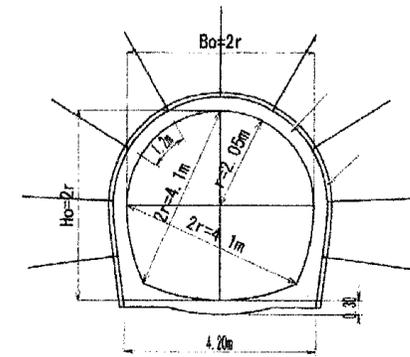
## 木曾川水系連絡導水路計画

工期 2015年度(H27)

事業費 890億円

木曾川水系連絡導水路事業 総額 890億円





延長: 43km

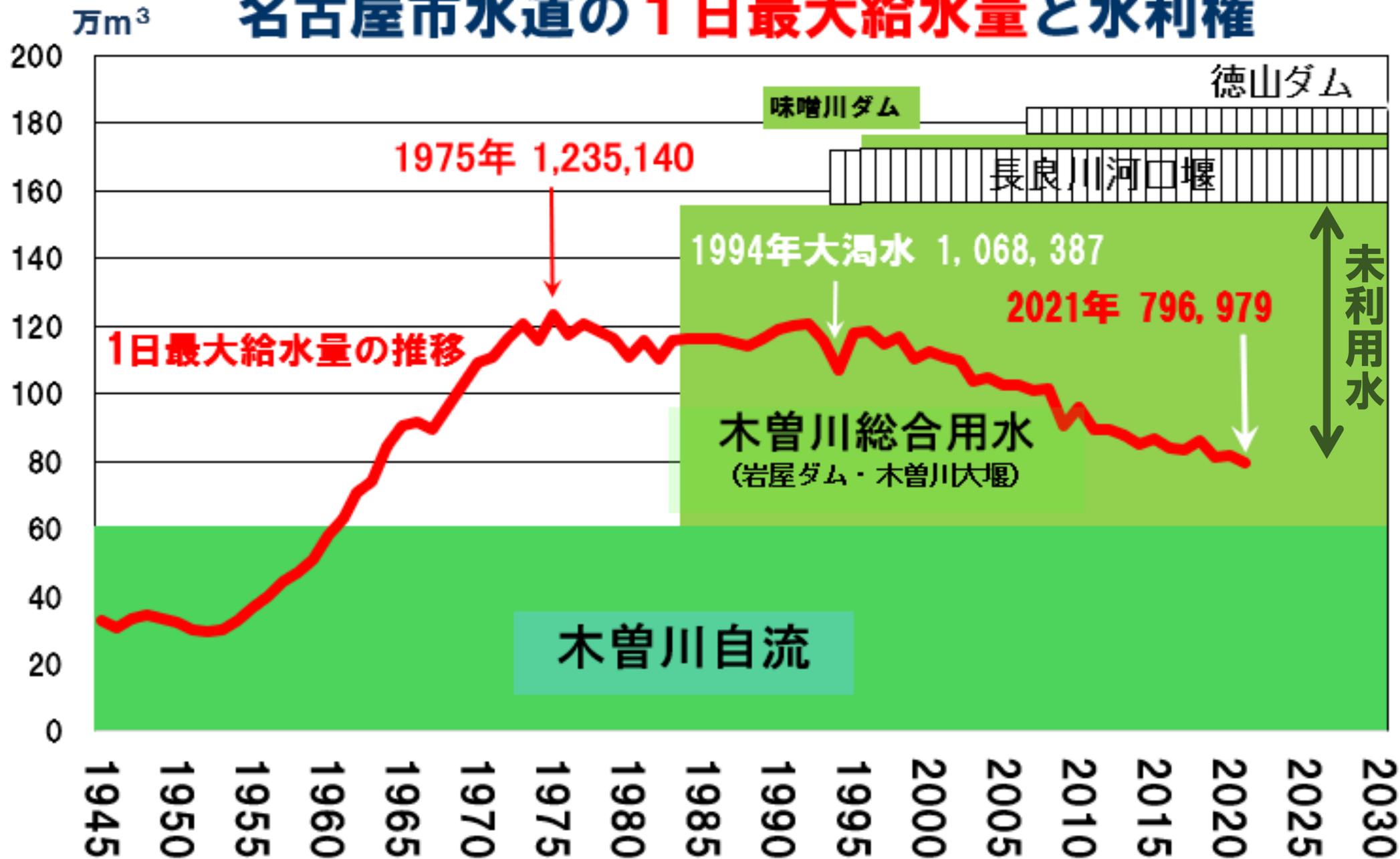
トンネル径: 約4m

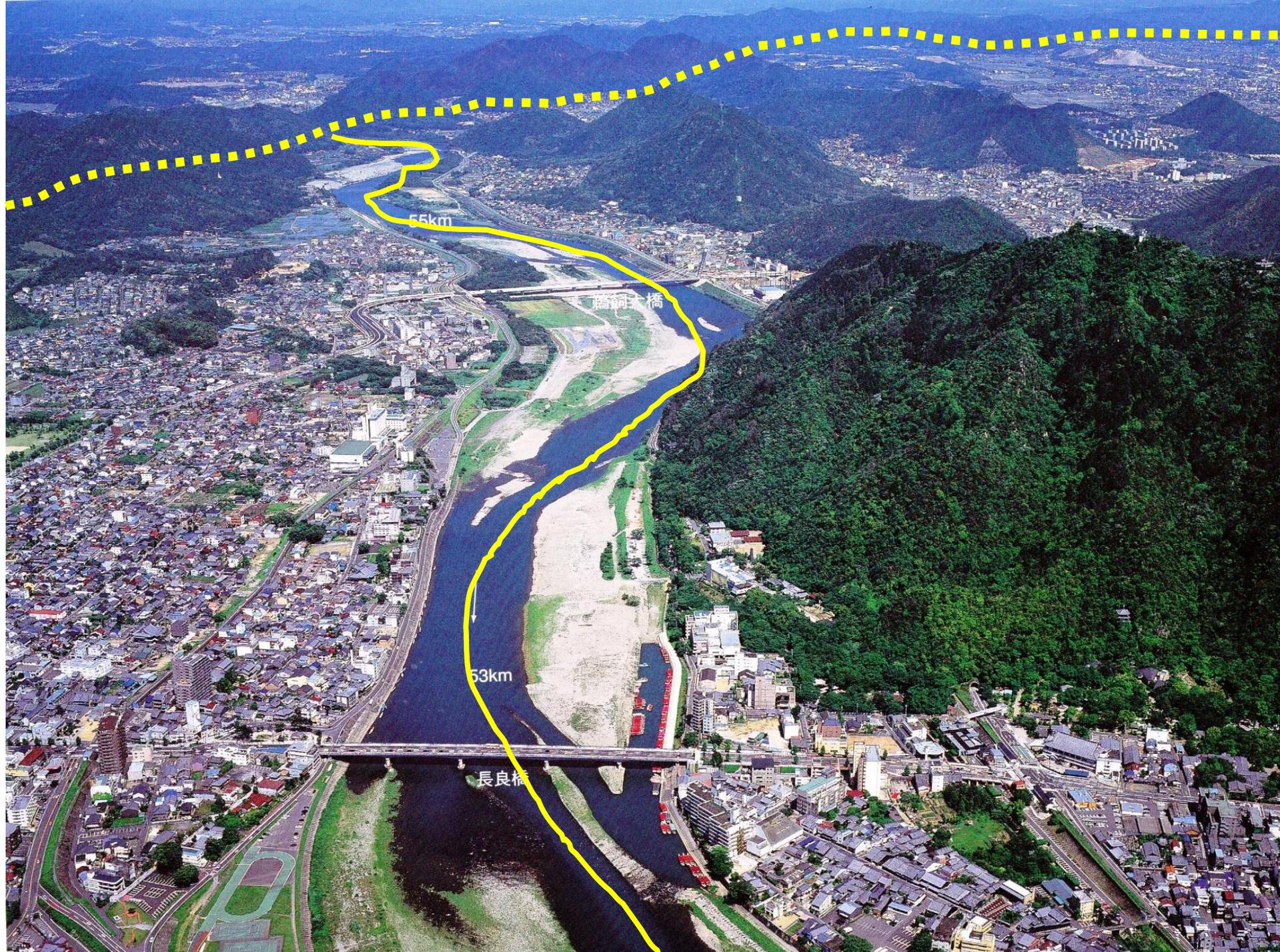
## 木曽川水系連絡導水路計画

工期 2015年度(H27)

事業費 890億円

# 名古屋市水道の1日最大給水量と水利権





# 環境改善のため?????

川にどれだけの水を流すのか

河川整備基本方針において「主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項」を定める。(河川法)

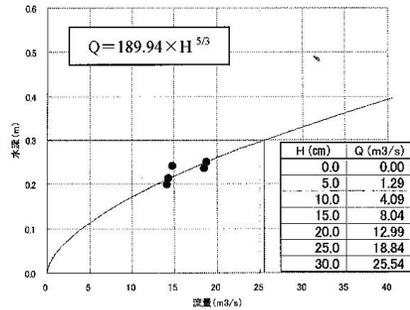
正常流量＝水利流量＋維持流量

木曾川 成戸地点 毎秒50m<sup>3</sup> (ヤマトシジミの生息?)

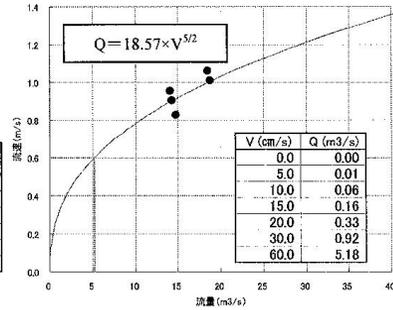
長良川 忠節地点 毎秒26m<sup>3</sup> (魚類の産卵?)

[長良川 51.3km 地点]

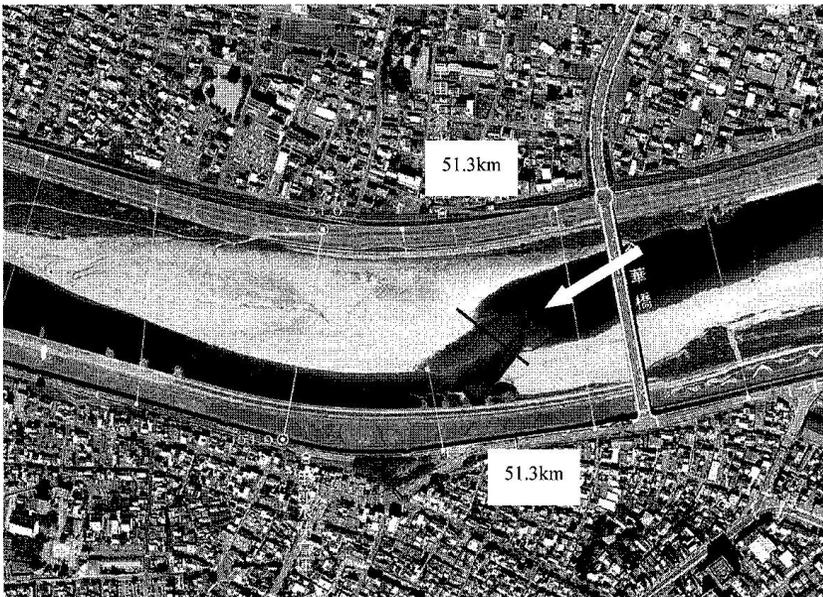
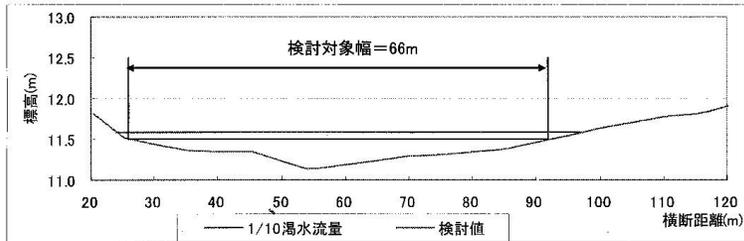
水位—流量



流速—流量



検討横断面 (1/10 相当濁水流量 15.85m<sup>3</sup>/s)



産卵場所(アユ)  
 51.3km地点では

**H=30cm**

→  $Q = 25.54 \text{ m}^3/\text{s}$

**V=60cm/s**

→  $Q = 5.18 \text{ m}^3/\text{s}$

よって

**維持流量は26m<sup>3</sup>/s**

表 2.10 区間別維持流量

項目	期 別	河川区分 下段：（区 間最大となる検討地 点）	備 考 （維持流量の設定根拠など）	
		B区間		
1. 動植物の生息地 または生育地	1月	13 (51.3km)	H=20cm V=10cm/s	カジカの産卵
	2月～4月	26 (51.3km)	H=30cm V=30cm/s	ウグイの産卵
	5月～6月		H=30cm V=30cm/s	ウグイの産卵 カワヨシノボリの産卵
	7月～8月		H=30cm V=60cm/s	カワヨシノボリの産卵
	9月～11月		H=30cm V=60cm/s	アユの産卵

向井貴彦(岐阜大学准教授:魚類学)の意見

2. 景観 (観光)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中流域の瀬に棲む代表魚種7種の選定いいかげん。</li> <li>・必要水深が30cmに統一されているのは不自然。</li> </ul>
3. 流水の清潔の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カワヨシノボリと似た生態で、はるかに魚体の大きいカジカの必要水深が少ないのも不自然である。</li> </ul>
4. 舟運	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カワヨシノボリが水深5cmで産卵する論文ある。</li> </ul>



間戸山と西平ダム湖  
この水が長良川に流される。

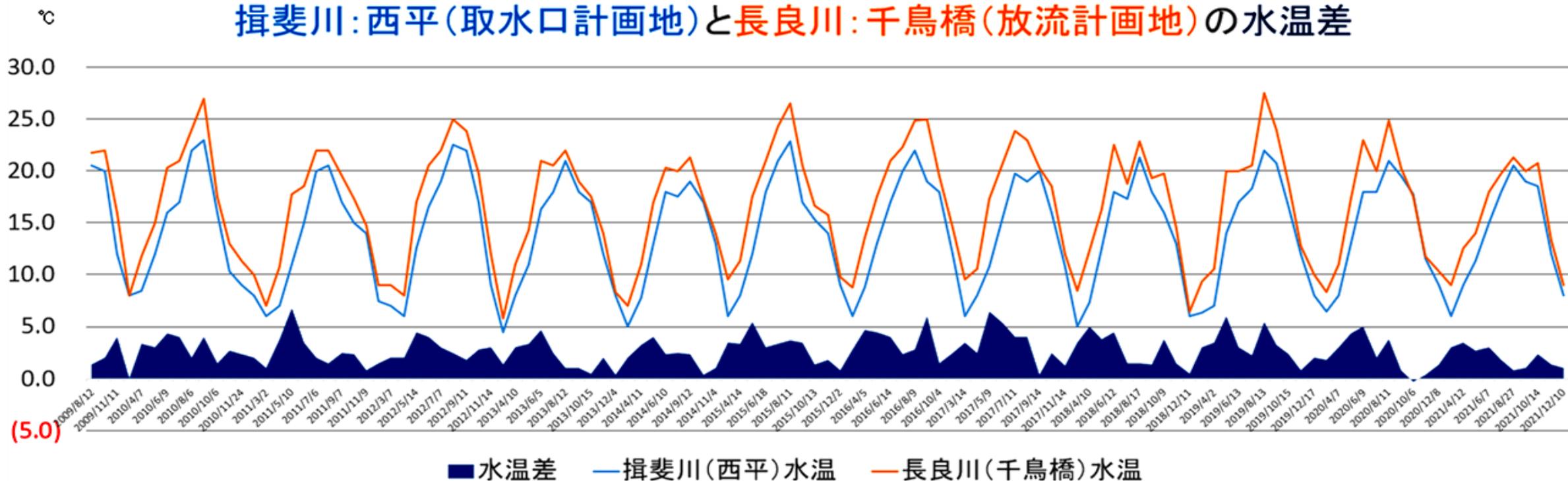
# 2009年8月12日～2021年12月 12年間の測定結果です。

## やっぱり、徳山ダムから来る水は 冷た～いです！



千鳥橋(岐阜市長良)から放流計画地を見る

### 揖斐川:西平(取水口計画地)と長良川:千鳥橋(放流計画地)の水温差

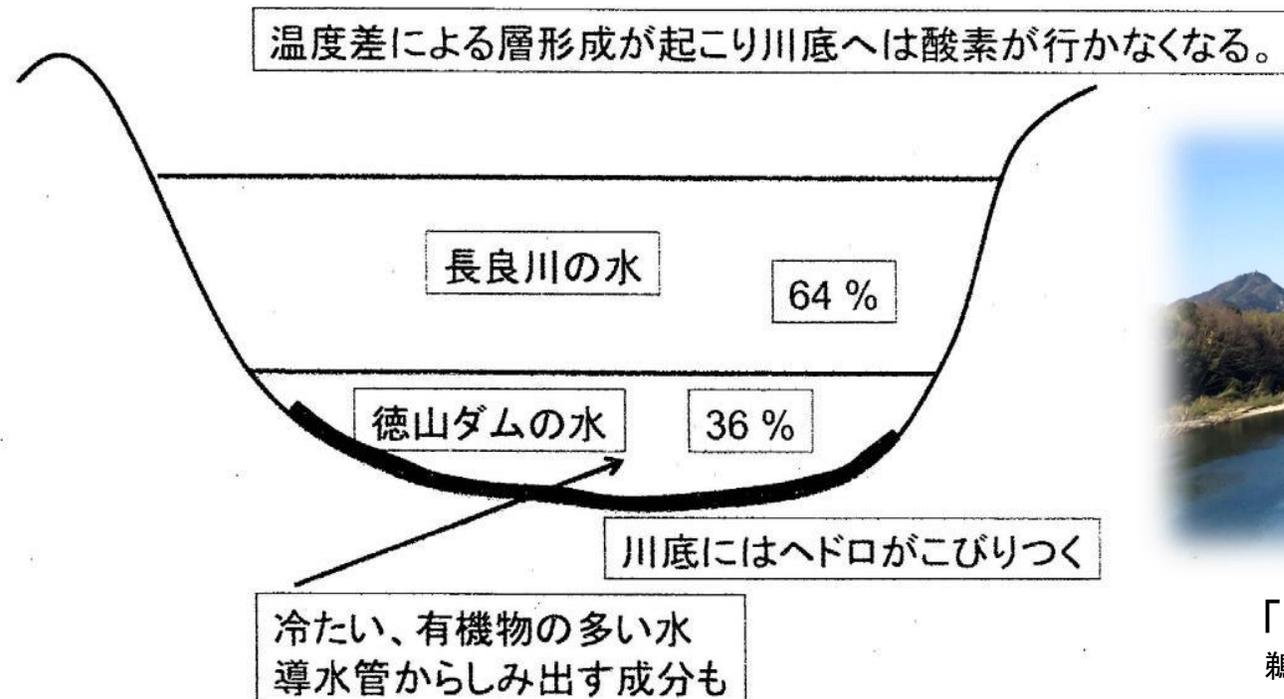


## 渇水時に徳山ダムの水が長良川に流される？

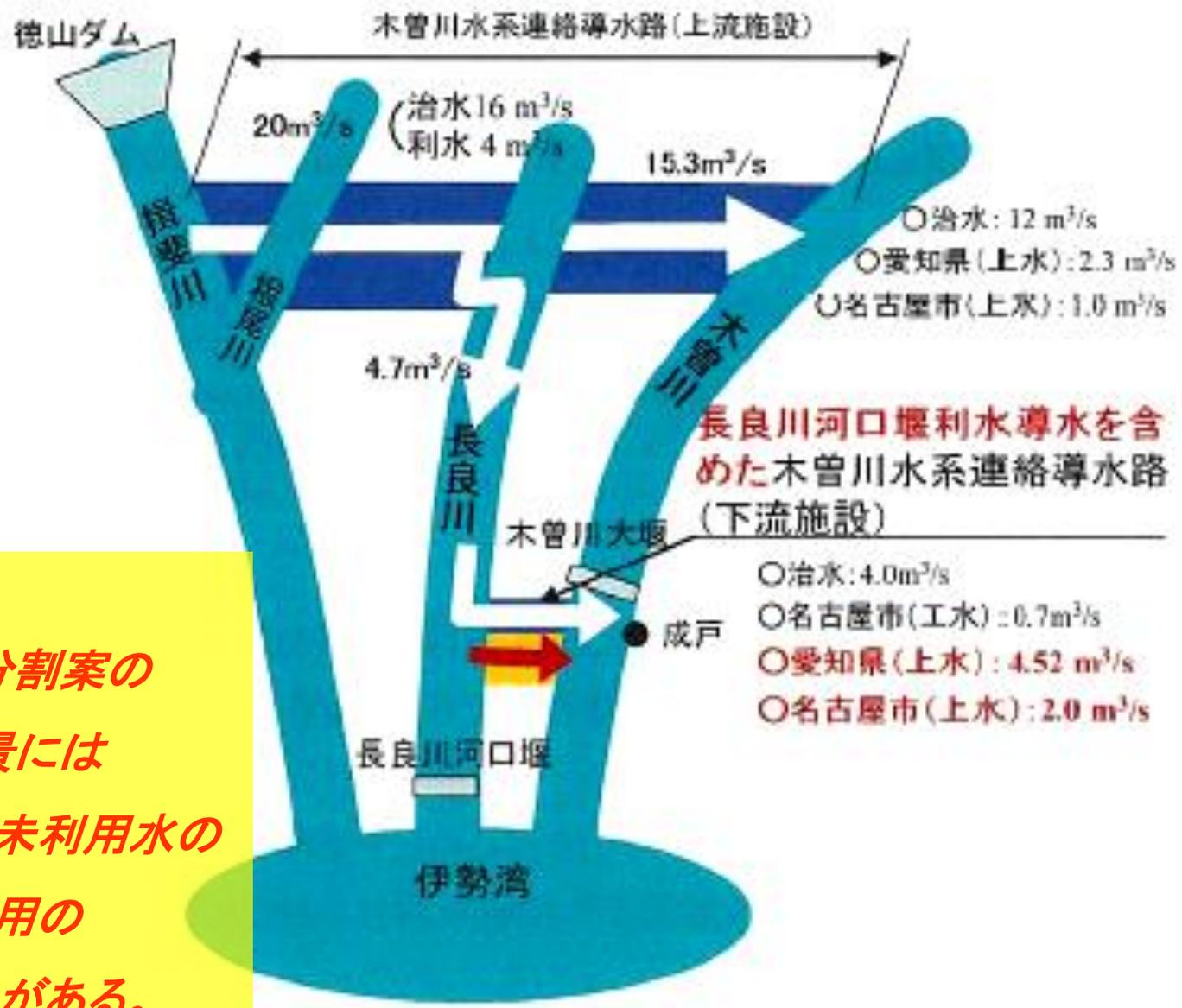
木曾川水系連絡導水路計画では、徳山ダムに貯まった水をコンクリート管を通して、長良川に流そうというものである。平成6年の渇水を参照すると、下図のようなシミュレーションが出来る。昨年夏のデータでは、長良川の水温 24℃、COD 2.1 mgO/L に対して西平ダムでは 17.2℃、3.6 mgO/L であり、温度差による層形成は避けられないと考える。河口堰と同じく、川底には酸素が届かなくなり、「死の川底」が出現することになる。

2009年9/9長良川市民学習会ニュースNo 6（粕谷志郎 筆）より

### 渇水時の河川断面



「導水路」長良川放水計画地  
鵜飼御料場 岐阜市長良古津



上流分割案の  
背景には  
河口堰の未利用水の  
活用の  
ねらいがある。

# まっぴらごめん

施工前



施工後

増水時の水位を下げる効果があります

施工前の水位



見る

河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部 河川工事部

# 岐阜市選定から8年、遡上減ったのに

## 長良川の鮎 レッドリスト削除

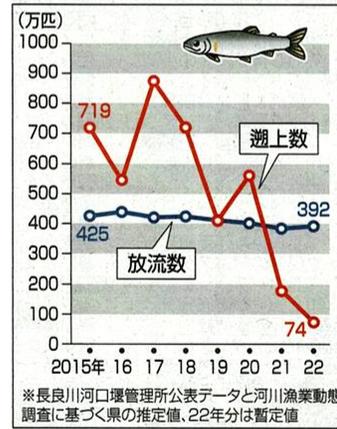
絶滅の恐れのある野生生物を記した2015年版の「岐阜市版レッドリスト」で「準絶滅危惧」とされた長良川の鮎(天然遡上)が、8年ぶりの改訂でリストから削除された。清流長良川の象徴で、後に世界農業遺産にも認定された「県の魚」のリスト入りを巡る漁業関係者からの強い反発が背景にあるとみられる。掲載の23年版レッドブックは27日に公表される。(堀尚人)



長良川の天然鮎＝昨年11月、岐阜市内

### 23年改訂版「放流と識別困難」理由

長良川の鮎の遡上数と放流数の推移



※長良川河口堰管理所公表データと河川漁業動態調査に基づく県の推定値、22年分は暫定値

改訂版は削除の理由を「(市)の運用開始時から漁獲量産上の管理が優先し、放流個体が天然個体であるかの判断が困難」と記載。鮎が漁業種で、種苗放流が義務付けられるなど水産利用が顕著なことが考慮されたとみられ、遡上に当たり市側から専門調査部に該当種を外す方針が示された。同様の理由で、「絶滅危惧Ⅱ類」(絶滅の危険が増大)だったアマノイサキも削除された。

長良川の鮎は、1996年の長良川河口堰(三重県桑名)の運用開始時から漁獲量産上の管理が優先し、放流個体が天然個体であるかの判断が困難」と記載。鮎が漁業種で、種苗放流が義務付けられるなど水産利用が顕著なことが考慮されたとみられ、遡上に当たり市側から専門調査部に該当種を外す方針が示された。同様の理由で、「絶滅危惧Ⅱ類」(絶滅の危険が増大)だったアマノイサキも削除された。

長良川の鮎は、1996年の長良川河口堰(三重県桑名)の運用開始時から漁獲量産上の管理が優先し、放流個体が天然個体であるかの判断が困難」と記載。鮎が漁業種で、種苗放流が義務付けられるなど水産利用が顕著なことが考慮されたとみられ、遡上に当たり市側から専門調査部に該当種を外す方針が示された。同様の理由で、「絶滅危惧Ⅱ類」(絶滅の危険が増大)だったアマノイサキも削除された。

### 背景に漁業関係者の反発

流域の鮎の漁獲は前年リスト作成年の15年段階で311トまで落ち込み、21年は231トとさらに低迷。冷水病やカワウの食害、遊漁者の減少も影響したとみられている。

個体数を確保する放流は年400万匹(県推定値)で続けられてきたが、天然の遡上数は15年の719万匹(同)が22年には1割強の74万匹(暫定値)まで激減に落ち込んだ。天然鮎を取り巻く現状は「危機的状況に陥りかねない」(同室)ほどで、サツキマスも、96年に1438匹(河口堰管理所調べ)あった岐阜市中央卸売市場の長良川産入荷数は、昨年はずか3匹にとどまるほど減少している。

23年版レッドリストは、専門調査部の選定を基に22年度、3回の改訂検討委員会で見直し作業を進めてきた。

長良川の鮎の生態に詳しい古屋康則岐阜大教育学部教授(動物生理生態学)は「岐阜市が何の目的でレッドリストを作っているのかわからない。漁業種として種苗放流が義務付けられているという観点なら除外は仕方ないと思うが、放流は長期的に見れば個体数を減らすという論文も出ており、リストに掲載しないとしても市として生き残った現状の記録を残すのは」と話している。

## 河口堰は、長良川と海を遮断し川の流れを止めました。

### アユは?

6～9月 稚魚期・成長

下流は河口堰があって流れが止まり、仔アユは海に下れません。

現在、漁協が落ちアユの卵から人工授精し、約1億個の受精卵をトラックで河口まで運び、河口堰横の人工河川で孵化させています。

2015年岐阜市は長良川の天然遡上アユをレッドリストで「準絶滅危惧種」に指定しました。

4～5月 遡上

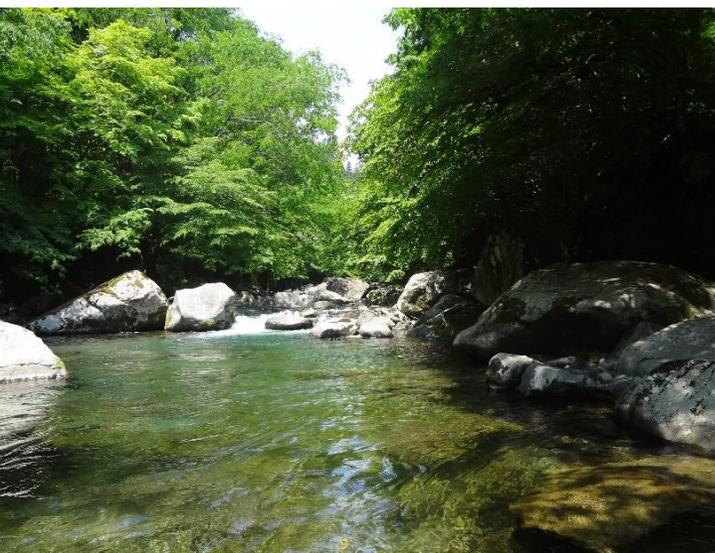
降下 孵化～7日

12～4月 沿岸で成長

アユの生活史の模式図(長良川下流域生物相調査報告書2010より)



2013.5.31 内ヶ谷



2013.5.31 内ヶ谷

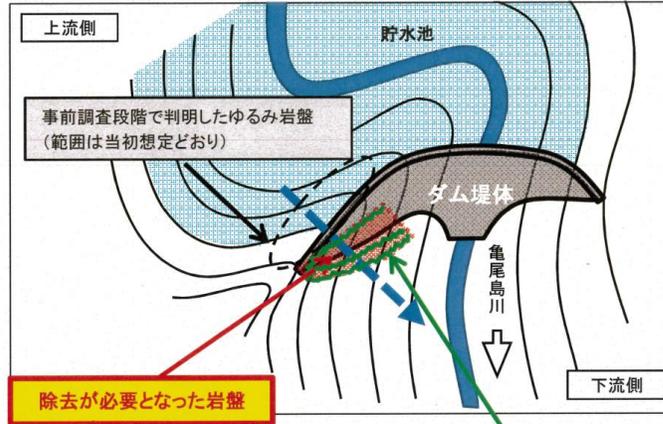


# 清流 長良川の 溪流が消えていく

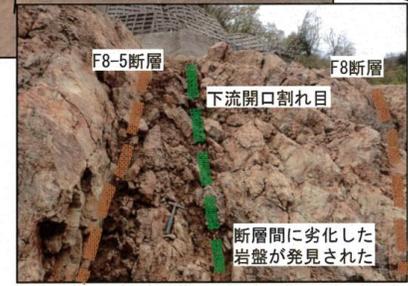
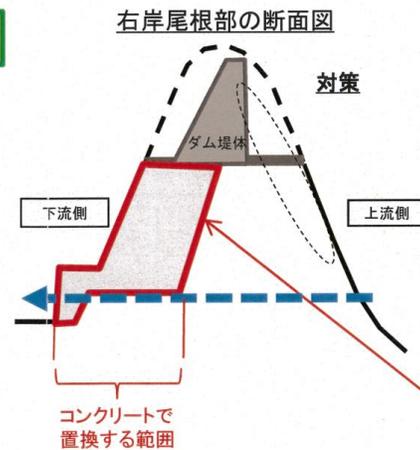
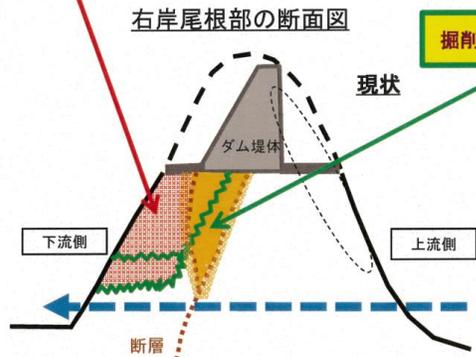
**内ヶ谷ダム建設**

# ダムを支える岩盤の強化対策

## ダムを支える岩盤の強化対策



内ヶ谷ダムの基礎岩盤:チャート

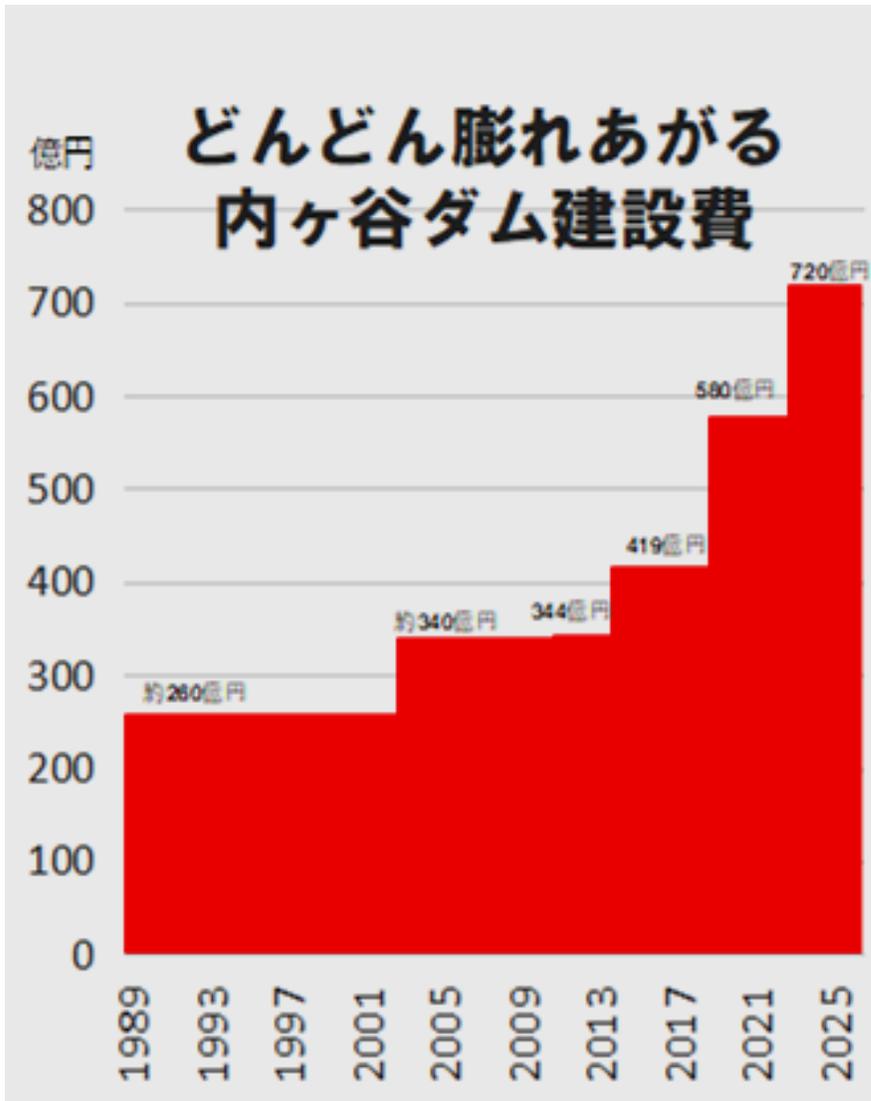


※ この断層は、活断層ではないことを調査済みであり、土木研究所等の第三者の現場確認も行っており、ダムの基礎地盤にあっても問題ない。

掘削途中に、割れ目が見つかり下流側に連続すること、断層と断層の間に劣化した部分があることが判明。

断層部分より下流側の岩盤の強化対策が必要。

断層部分より下流側の岩盤除去を行い、コンクリートで置換する岩盤強化対策工事を実施。

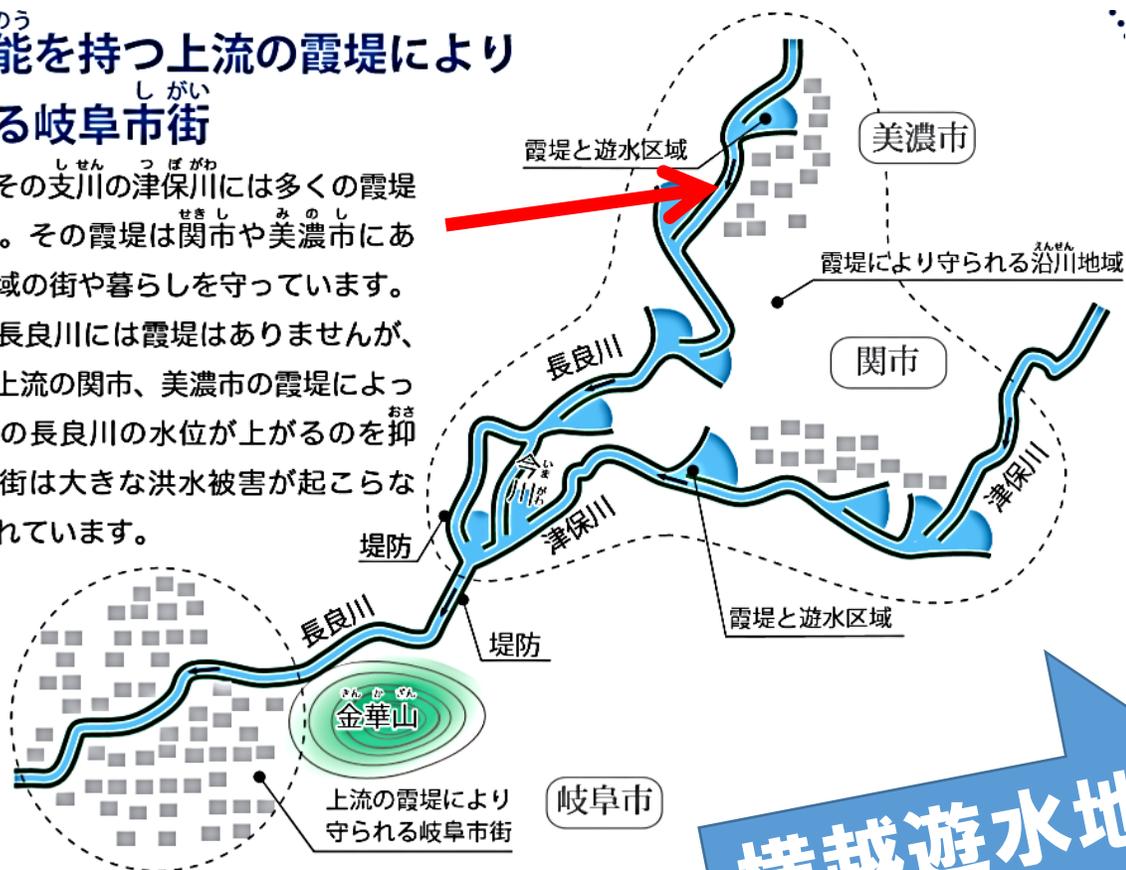


岐阜県内ヶ谷ダムホームページ「工事進捗状況」(令和4年11月末現在)に加筆

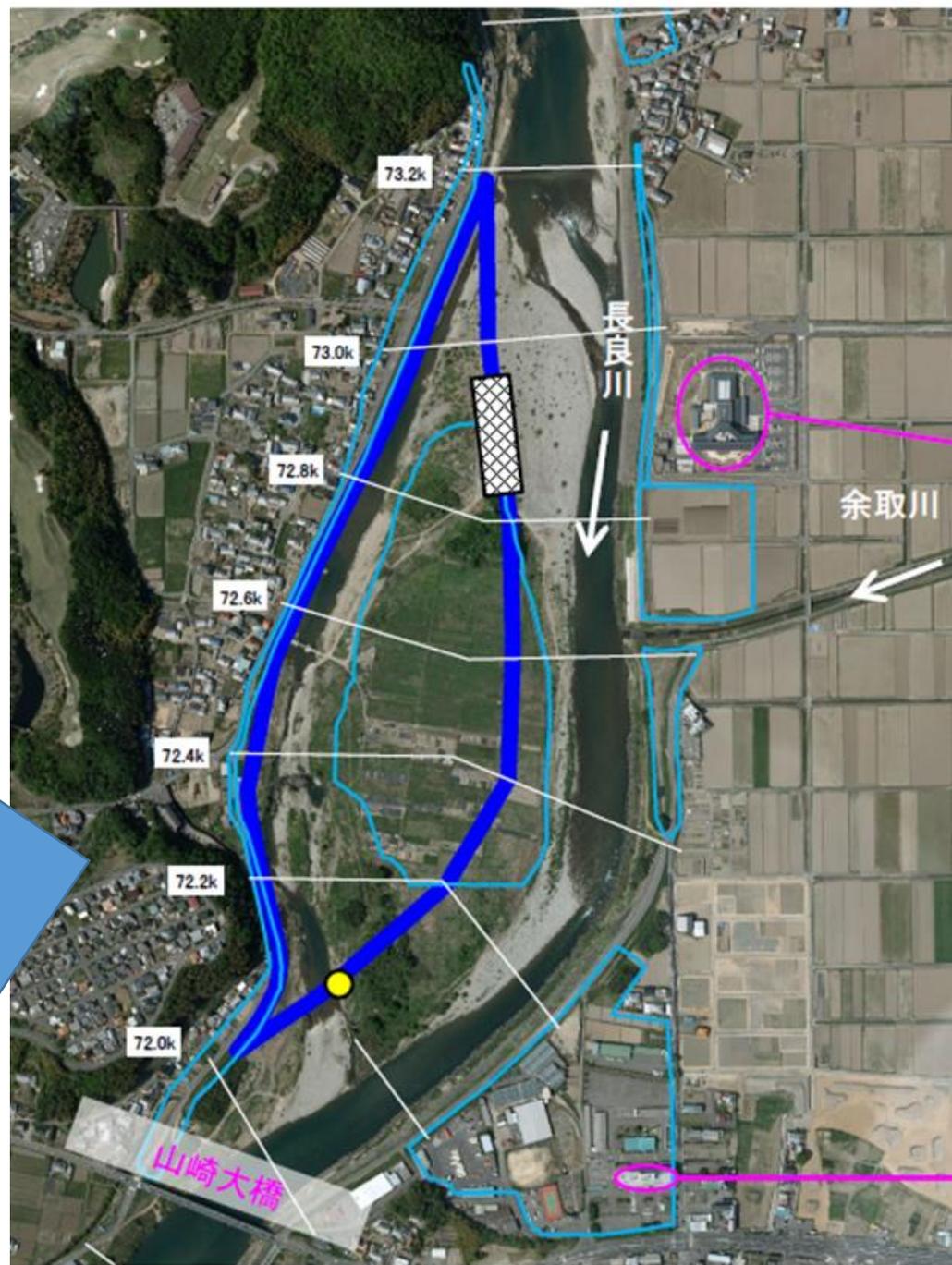
## 遊水機能を持つ上流の霞堤により 守られる岐阜市街

長良川やその支川の津保川には多くの霞堤があります。その霞堤は関市や美濃市にあり、この地域の街や暮らしを守っています。

岐阜市の長良川には霞堤はありませんが、洪水の時、上流の関市、美濃市の霞堤によって岐阜市内の長良川の水位が上がるのを抑え、岐阜の街は大きな洪水被害が起らないよう守られています。



横越遊水地  
計画地



面積 約19ha、容量 約90万 $m^3$

お知らせ

6/11 討論集会

再び動き出した徳山ダム導水路事業の何が問題なのか

## 長良川に徳山ダムの水はいらない

河村たかし名古屋市長が突然「徳山ダム導水路事業容認への方針転換」を表明しました。これは私たちの大切な長良川と無関係ではありません！  
清流・長良川を守るために、私たちは何をすればいいのでしょうか？

基調講演

### 清流・長良川のためには何が必要なのか？

- 揖斐川・長良川・本管川の違いから見えてくるもの -

講師 向井 貴彦(岐阜大学教授)

- 討論/壇 敏弘(長良川市民学習会)  
富樫 幸一(岐阜大学名誉教授)  
近藤ゆり子(徳山ダム建設中止を求める会)

コーディネータ: 粕谷志郎(長良川市民学習会代表)  
参加者・市民の皆さんと質疑応答

日時: **6月11日**(日)pm2:00~4:30

開場 1:30

会場: **長良川国際会議場** (5F 国際会議室)

岐阜市長良橋西 2005 ☎ 058-298-1200

主催 **よみがえれ長良川実行委員会** (連絡先) 090-1284-1286 矢野仁

(注) 本冊「よみがえれ長良川 2023」7月5日~10日 各メディア・SNSにて開催します。

是非、ご参加ください！